

SNS ヒヤヒヤしないで使いたい！



普段会えない人とも手軽に交流を広げられる SNS (交流サイト)。しかし、プライバシー保護やマナーの面でヒヤヒヤしながら使っているという人は多いのではないのでしょうか。安全に使うには、どんな対策をとればよいのでしょうか。

今回は SNS の一般的な注意点について、また、次回のかわら版では特に利用する人が多くなってきた LINE を利用する際に気をつけたいところを確認してみましょう。

SNS 全般の利用で気をつけたいこと

①個人情報の登録を絞るか、見られる人を限るようにしよう！

住所や出身校など個人情報が漏洩しないか心配という悩みは非常に多く聞かれます。プロフィールを詳しく登録するほど、知り合いから見つけられやすくなる代わりに、自分の情報がネット上にさらされることとなります。そのため「登録項目を絞ったり、あるいは自分のプロフィールを見ることができる人を『友達』などに限定する」などの対策をしてみてもいいでしょうか。

また、共通の友達なし、投稿もしていない人からの友達申請は無視しましょう。

②会ったことのある人の友達申請にだけ応じましょう

SNS を安全に利用するには誰を友達にするかが一番重要です。中には出会い系サイトやウイルスを感染させる目的の偽アカウントもあるので、共通の友達もおらず、投稿もわずかで「フォロー」する人がいないようなアカウントからの申請には応じない方が安全です。また、共通の友達がいる場合でも、その人が誰彼構わず友達承認するタイプだと、いくら自分が注意していてもリスクが増すこともあります。友達申請に応じるのは会ったことのある人に限るなど、自分でルールを決めることも必要です。

③親しくない友達には投稿閲覧を制限する機能を活用しましょう

プライベートを知られたくない人は「制限」のリストを作って、入れてみましょう。「制限」リストの人はこちらの「公開」の投稿しか見られないようになります。

④ネガティブなことは投稿・コメントしないようにしましょう

人の悪口などネガティブなことを書いてあると、読まれる側もいい気持ちはしないと思われます。特に見ることができる人を限定していない「公開」投稿は、グーグルなどの検索エンジンにも引っかかり、世界中の人が読める状況になってしまうこともあります。不用意なネガティブ発言は炎上のもとにもなるから気をつけましょう。※詳しくは、かわら版 18 号をご参照ください。

⑤友達も写真を勝手に投稿しないようにしましょう

たとえ見られる人の範囲を限っても知らない人の目に触れる可能性は高いです。また、高校生の場合は防犯の面からも用心が必要になります。どうしても載せたい場合は、必ず友達の了解を得ましょう。あるいは友達の顔をスタンプで隠すなどの配慮が必要になります。※詳しくは、かわら版 18 号をご参照ください。

まとめ

SNS での友達とのメッセージのやり取りはとても楽しいことです。一方、個人情報を他人に不用意に知られてしまうと、自分の個人情報が悪用されてしまうこともあります。これからも快適に SNS を利用するために、今回取り上げた SNS の一般的な注意点等を参考にしながら、もう一度自分は大丈夫か考えてみましょう。今回は、LINE で気をつけたいことについて確認をしていきます。

※ かわら版バックナンバーは、千葉司法書士会ホームページで公開しております。

(<http://chiba.shihoshikai.or.jp/activity/library.htm>)

下記のいずれかの方法で、アクセスしてください。

- ①スマートフォンで右記のQRコードを読み取ってアクセス
- ②「千葉司法書士会 かわら版ライブラリー」で検索してアクセス



◆消費者教育高校生講座◆

千葉司法書士会では、毎年県下の高校に講師を派遣し、標記事業を行っております。

司法書士としての実務経験を生かして、契約の基礎や、悪質商法への対処法、多重債務問題等について講義をし、これから社会に出る生徒の皆さんに法的なものの考え方を学んで頂くことを目的としております。

◆活動実績◆

平成22年度：17校で開催	平成25年度：12校で開催
平成23年度：20校で開催	平成26年度：21校で開催
平成24年度：18校で開催	平成27年度：19校で開催

お問い合わせ先：千葉司法書士会事務局 043-246-2666